

1. 園の教育目標

本園は、学校教育法及び教育基本法の基づきながらキリスト教(日本聖公会)の根本の教えである「愛」の精神をもって、一人一人をかけがえのない存在として大切にし、成長してゆく幼児に人生の早期から宗教的情操を与えることによって心身の発達を援助し、健全な人格の形成、愛情豊かな子どもに育つよう教育したいと思っています。愛された子どもは、人を愛することができます。また、子ども自身が持っている創造性や興味を、遊びを通して引き出し、自己表現や人とのかかわりを体験的に学びながら、人間としての基本的なことを、身につけてゆくものです。そのため本園では、「遊び」というものを大切な「学習の場」と考えています。「程よい抵抗」を与えながら「遊び」を通して成長してほしいと願っています。

教育理念

「キリスト教の愛の精神をもって、一人一人を大切にし、愛情豊かな子に育てる教育につとめてゆく」ことを教育理念とした保育を行っています。

- ・ 神様の愛を知る子ども
- ・ のびのび遊ぶ子ども
- ・ 思いやりのある子ども

日々のお祈りや礼拝堂での礼拝、また、花の日やクリスマスなどの行事を通して神さまと人々に感謝し、すべての人のために祈ります。こうした宗教的環境は、目に見えないものに対する感性を豊かにします。そして聖書のお話を見聞きし、キリスト教の愛の精神に根ざした人と人のつながりの大切さを学んでいきます。つまり、何よりも「自分が愛されている存在」ということを体感し、「愛され大切にされている事実から、人を愛し大切にしていゆくことを学ぶ」ことを目指しています。

2. 本年度の重点目標

自園の教育方針や保育理念に基づき、子どもの豊かな「資質・能力」としての「学力」を育成しているという自覚を持ち、意欲的・計画的・組織的な育成を子どもの主体的で協働的な遊びと生活の創造を通して実現していく。また、幼児期に育てている「資質・能力」が先々何にどのようなつながっていくのかを見通していく。21世紀型「学力」の育成の盤石な基礎を育み、子どもと社会の未来を明るくものにしていけるように、その出発点として一人一人の子どもを丁寧に見つめ、その子らしさを認め尊重し合える関係づくりをしていく。

3. 評価項目と取組内容

① 【教師の資質向上】

子どもに対する愛情や教育者としての責任感を持ち、常に子どもの人格と個性を尊重した指導を行う。また、たゆみない向上への意欲を持ち、子どもとともに課題に取り組む想像力、積極性、行動力を持つ。すぐれた人権感覚と社会人としての良識に富み、子どもや保護者との間に深い信頼関係を築く。

② 【保育内容の見直しと充実】

- ・教師は、一人一人のその子らしさを十分に認め、安定した環境で幼稚園生活がおくれるように見守っていく。
- ・子ども自身から挑戦や思考が生まれる構想的な環境を考え、夢中になれるあそびを経験する。その中でより子どもたちが深くあそび込めることや探求の経験を保障していく。
- ・コロナを契機にこれまでに当たり前だった活動や環境をよりよいものへと見直していく。

③ 【園がワンチームとなり専門性をさらに高め、保護者とともに子どもを支え合う】

- ・教職員間の共通理解がより一層図れるよう努力をし、立場やキャリアに関係なく、それぞれの持ち味を認め合い、活かし合うことでより質の高い連携を目指す。
- ・コロナ禍の経験を活かし、園での子どもたちの様子や、個々の成長とその過程を分かりやすく伝える工夫をすると共に、個別の懇談や家庭訪問など適時実施し保護者の子どもたちへの思いを知る。
- ・園の取り組みが保護者へ伝わるように、情報発信に努める。子どもたちが意欲的に理組めるような行事や活動を教師間で話し合い計画するとともに、保護者も積極的に園にかかわってもらえるような行事や保育参観を企画し実践する。

4. 今後取り組む課題

- ・教師の資質向上
- ・保育内容の見直しと充実
- ・園がワンチームとなり専門性をさらに高め、保護者とともに子どもを支え合う

5. 学校評価の評価結果

学校関係者評価委員会・評価委員の方には、各学年の子ども達の様子や活動・園内をご覧頂くとともに、取り組みの計画・実践内容等を報告や記録写真などで確認して頂いた。

結 果	評 価 委 員 の 意 見
A	<ul style="list-style-type: none">・保護者の考え方の多様性の中で、注文やクレームも多いと思いますが園の考え方や教師の思いをしっかりと伝え、理解してもらえるようにすることも大切かと思えます。・教育界は課題がたくさんあり、社会の問題の縮図でもあります。・どの先生に伝えても必ず返事が返ってくるので、担当の先生がいなくても安心して伝えられた。・子どもが今悩んでいる事や、親が悩んでいる事も親身になって考えてくださり、その日の園での様子も詳しく教えてくださる。・コロナ禍に入園したこともありコロナ前の園は知らないが、楽しかったイベントがたくさんあったと聞いたので、少しずつ戻っていったらいいなと思えます。・行政と連携したり、研修に参加したりと質の向上へ取り組んでいる様子が伺えました。

6. 財務状況

公認会計士監査より、適正に運営されていると認められている。